

アイリスたより

「生活を支えるサービス」



総合施設長
小中 宏三

収穫の秋を迎え新米の香りが気になる今日この頃、皆様におかれましてはご健勝のこととお慶び申し上げます。

令和の米騒動から一転、お米の価格が以前のように戻りつつあることに消費者としては喜ばしいことではありますが、農家の皆様が安心してお米を生産し、私たち国民に安定して供給いただけるよう、今後の流通に期待しています。

私たちが提供する介護・福祉サービスにおきましても、地域の皆様にご理解の上、ご利用いただけているか今一度確認を行っております。

アイリス福祉会では、特別養護老人ホーム・短期入所生活介護（ショートステイ）・認知症対応型共同生活介護（グループホーム）・軽費老人ホーム（ケアハウス）と4つのサービスを提供しております。例えば、ケアハウスについては、地域の皆様やサービスを必要とする皆様に情報をお届けできているかと懸念しております。

秋号
Vol.92
26.10.1

社会福祉法人
アイリス福祉会

理事長 清水 史記

特別養護老人ホーム「ヴィラ多国山」
ケアハウス「白百合苑」
グループホーム「かたらいの家」

核家族化により高齢者世帯や独居高齢者の生活支援が課題となっております。また、入院された高齢者の病状が改善し、病院での生活では自立した生活が取り戻せたとしても、いざ自宅に帰られると病院での生活とは違い、道路から自宅玄関までの階段や居住空間（居間やトイレ、浴室、寝室や物干し場への動線）の段差など、バリアフリーの病院での生活とのギャップが生活上弊害となり、いわゆる要介護状態ではない方であっても自立した生活が難しくなる場合がございます。

そのような方がケアハウスを活用されるケースが増えております。ケアハウスは原則、60歳以上の方を対象としており、要介護認定の要件はございません。バリアフリーの居室で食事サービスも受けられ、ご自宅の様に特別な外出制限もなく、ご自身で生活を送っていただけるサービスです。もちろん、バリアフリーの必要が無くなれば、ご自宅での生活に戻っていただくことも可能です。

アイリス福祉会では、このようなサービスを必要なお家庭に周知できるよう情報を発信し、これからも地域のお役に立てる施設として取り組んでまいります。

『京都聖カタリナ高等学校施設見学』

令和8年7月22日（水）

南丹市園部町にある「京都聖カタリナ高等学校」3年生6名が、アイリス福祉会へ施設見学に来所されました。まずは総合施設長の挨拶と施設概要について説明を行い、皆さん真剣なまなざしで聞いておられました。その後は特養にて、施設見学やご利用者とレクリエーションを楽しみました。体操で身体をほぐし、グループワークでご利用者と「素麺」の飾りを作成。「具材はどうしますか」「いいですね」等、始めは緊張した面持ちの生徒さんも、自然とご利用者との距離を縮めていきました。最後は、高校OBの職員との座談会を実施し、社会人と学生の違い、仕事での失敗談、仕事のやりがい等、終始和やかな雰囲気となりました。



ご寄付・ご寄贈（7月～9月）

人見 和真様
岡野 善光様

皆様のご芳情に厚くお礼申し上げます。

『アイリス夏祭り』協賛いただいた企業様

● 日清医療食品株式会社様

● ティー・エス・ケー株式会社様

皆様のご芳情に厚くお礼申し上げます。

お祭り アイリス夏祭り 令和8年8月23日(日)

今年の「アイリス夏祭り」は日曜日に開催し、地域の方々にもご参加いただきました。3時間と短い時間でしたが、職員等の模擬店に始まり、城山共同作業所様による鉄板焼きそば、クサカベ農園様による新鮮採れたて野菜もブースとしてご出展いただきました。また「八木中学校吹奏楽部」のミニ演奏会も同時開催。ボランティアやたくさんのご利用者家族、関係者、地域の方々にも多数ご参加いただき、大盛況となりました。



敬老祝賀会 令和8年9月16日(水)



令和8年度に米寿、白寿を迎えられる方、並びに百歳以上の方に記念品を贈呈し、ご利用者皆様のご長寿のお祝いを行いました。今年度は百歳を迎えられた方が多くいらっしゃいました。敬老祝賀会にはご家族の皆様にもご列席いただき、和やかな雰囲気となりました。当日の昼食はお祝い膳が提供され、豪華なお食事にご利用者はしっかりと召し上がっていただきました。皆様これからも健やかに過ごしてください。



米寿を迎えられた方々

← ケアハウス
ご利用者 ↓



↑ 特養ご利用者 →



百歳を迎えられた方々
ケアハウスご利用者 ←

→ 特養ご利用者



101歳以上の方々

→ 特養101歳~104歳を
迎えられるご利用者

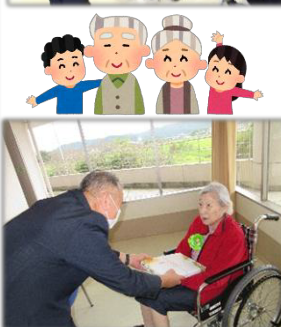
ケアハウスご利用者 ←



グループホームご利用者 →



→ 特養ご利用者
白寿を迎えられた方々



↑ 敬老お祝い膳
↓ 記念品の贈呈 →



特別養護老人ホーム

ヴィラ多國山



「夏のそうめんレク」

3Bこすもす 副主任補佐 白波瀬ともみ

毎年恒例のアイスクリーム屋さんに代わり、今夏のおやつレクは「そうめん」を行いました。錦糸卵やかにかまぼこ、ねぎのトッピングした素麺を準備し、ご利用者の皆様に召し上がっていただきました。

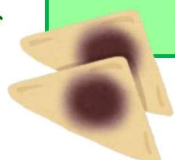
「今日は何が出てくるの？」と職員が準備する段階から楽しみにされていらつしやるご利用者もおられました。職員オリジナルの「素麺音頭」で始まり、ご利用者一人ひとりに配膳すると「美味しそうや」「綺麗やな」と目を輝かせていました。「冷たくて美味しい！」と笑顔で召し上がられている姿も多く見られ、暑い夏にピッタリのひと時となりました。

いつもと違った雰囲気の中、ご利用者の皆さんと一緒に賑やかで楽しい時間を過ごすことができました。



ケアハウス

白百合苑



「井筒八ッ橋本舗へお買い物ドライブ」

副主任寮母 芳村 潤子

8月17日と21日の2日間、南丹市園部町にある井筒八ッ橋本舗 新光悦店へお買い物ドライブに出かけました。店内ではご利用者の皆さんが楽しそうにお土産を選び、喫茶コーナーではお待ちかねのティータイム！暑い時期ということもあり、皆さん「抹茶サンデー」や「抹茶ソフトクリーム」を選択。「美味しいわ」と笑顔でペロリ!!カメラを向けると自然にピースが飛び出すなど、弾ける笑顔がとても印象的でした！心もお腹も大満足の楽しいひとときとなりました！



グループホーム

かたらいの家

「案山子作り」

介護士 小川 美子

今年も亀岡夢コスモス園出展に向けて、ご利用者と共にかし制作に励んでいます。ご利用者の大半がかし作りを初めて経験される方のため、毎年制作しているかし作りの様子を伝えると「外に飾るの？田んぼか？」と質問される方もおられます。細かい作業が得意なご利用者にはフェルトで花びらや切り葉を糸で縫い合わせてくださっています。他のご利用者も「綺麗な色合いやな。上手や」と励ましの声掛けをしてください。亀岡夢コスモス園にぜひ足をお運びいただき、ご利用者との努力の結晶である『輝く魂のファイヤーパンダ』をご覧ください。



→かし作りに集中
するご利用者↓



アイリス・ニューフェイス

- ① 入社日 ② 所属 ③ 血液型 ④ 星座
- ⑤ 趣味 ⑥ 自己PR ⑦ 抱負

甲斐 安奈

① 7月1日 ② 生活相談員 ③ O型
④ 双子座 ⑤ お酒を飲むためのおつまみ作り・ドライブ ⑥ 丁寧に、確実に、楽しく仕事に向き合いたいと思います。
⑦ ご利用者やご家族のお話を傾聴し、共に考える相談員を目指しています。気軽に声をかけていただける、身近な存在になれば嬉しいです。

人見 文乃

① 8月1日 ② 生活相談員 ③ A型
④ おうし座 ⑤ スポーツ観戦
⑥ ご利用者、ご家族に寄り添った支援を心掛けていきます。 ⑦ 安心してアイリスでの生活を送っていただけるよう頑張りたいと思います。

原田 ゆかり

① 8月1日 ② 特養介護士 ③ A型
④ 蟹座 ⑤ 食べ歩き・旅行 ⑥ マイペース ⑦ ご利用者とのふれあい、楽しく話しながら安心感がある介護をさせて頂けたらと思います。

『健康講座』 令和8年7月22日(水)

管理栄養士主任 瀬戸 真紀

ケアハウス入居者の方に「無理なくできる！減塩のコツ」と題し、健康講座を行いました。高血圧の代表的な要因は、塩分の摂り過ぎです。スライドを使って必要塩分量や塩分が多い料理、調味料の話、減塩〇×クイズ、実際に食塩の量を体感していただくため「食塩1gピツタリチャレンジ」を行いました。「こんなもんなかな？」と量を調整され、見事1gピツタリに計量された方が2名おられ、会場は大変盛り上がりしました。



↑「食塩1g」を体験↓



『認知症カフェ』 令和8年9月19日(土)

9月の認知症カフェは「園部第二小学校PTAサークル 小山太鼓」の皆様をお招きし、演奏会を実施しました。大きな太鼓を力いっぱい軽快に叩く小学生の姿に参加された方も最後まで楽しみ、最後は参加された方に実際に太鼓を叩いて体験させていただきました。



ケアハウス『おやつレク』

令和8年9月16日(水)

今年で3回目となったケアハウス「おやつレク」。今年は、管理栄養士・栄養士による「パンケーキ」をご利用者の前で作りました。お店に出てきそうなパンケーキにご利用者も思わず「パンケーキって初めてや〜」と声が漏れてきました。ご自身で盛り付けを希望された方には、好きなフルーツやチョコソースをアレンジし、楽しんでいただきました。初めて食べるパンケーキに「豪華な〜」「食べるのもったいないわ〜」とお話をされていたご利用者の皆さん、最後まで綺麗に召し上がっておられました。



編集後記

今年はお盆前に少し涼しくなり、このまま秋に移行するかと思いきや、8月下旬は厳しい猛暑日が続きました。また、熊本では大地震が起き、全国各地では豪雨による川の氾濫や土砂災害が発生する等、人々の生活が一変しました。しかし、最近では災害に対する意識も強まり、また災害から復興するスピードが各段に速くなってきました。猛暑の中での復興は私たちの想像を超える厳しさがありました。1日でも早く「普段の生活」が送れることを祈願いたします。

(藤)